

会員同士の交流のコーナーです。お便りをお待ちしています。



お茶会しませんか？（第3回）

2016年9月3日（土）16:00～17:00

YWCA 会館 215 号室

同日、福祉・介護の講習会が 13:30～15:30 1F にて開催されます。（別紙チラシ参照）その後ほっこり、わいわいおしゃべりしませんか？もちろんお茶会のみ参加も大歓迎です。お待ちしております。

参加費 100 円（当日お支払） お茶会の申込み 8/26 までにご連絡下さい 03-6273-7134
大庭まで 懐かしい先生方も参加予定！ お楽しみに！

◆◆◆ Information ◆◆◆

ご寄付いただいた方のお名前です。ありがとうございます。（2015年12月～2016年7月）

蛭原まゆみ・加藤きく子・中村道子・徳森敬子・林伸子・遠藤久江・尾崎裕美子・川副栄子・新田和子・渡辺美智子・江尻美穂子・笹尾正乃・田口美穂・大井妙子 順不同 14 名
誠に勝手ながら、敬称と金額は省略させていただいております。

NPO 法人東京 YWCA ヒューマンサービスサポートセンターのご案内

会員数 96（正会員 79 団体会員 6 賛助会員 11）2016 年 7 月 1 日現在
～会員になって、東京 YWCA ヒューマンサービスサポートセンターを支えてください。～
会員特典：NPO 主催の講習会費の割引、講師派遣研修費の割引等があります。入会申し込みは事務局まで。

今年度の会費の振込み、お忘れではございませんか？

年会費

正会員 3,000 円/年 賛助会員 一口 10,000 円/年 団体会員 一口 20,000 円/年

会費振込先

（ゆうちょ銀行と東京三菱UFJ銀行の二箇所あります）

◆株式会社 ゆうちょ銀行 記号 10170 番号 80995501

◆東京三菱UFJ銀行 神田支店 口座番号 普通預金0138637

口座名義（2箇所とも口座名義は共通）

特定非営利活動法人 東京 YWCA ヒューマンサービスサポートセンター 代表理事 遠藤久江

発行所 特定非営利活動法人 東京 YWCA ヒューマンサービスサポートセンター

発行人：石井須美子

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台一丁目8番11号 東京 YWCA 会館 216 号室

TEL・FAX 03-6273-7134

E-Mail: info@ywca-hssc.jp ホームページ: <http://ywca-hssc.jp/> 東京 YWCA hssc で検索



2016 年 8 月 12 日～8 月 16 日まで夏季休暇をいただきます。

編集人 大庭 幸



特定非営利活動法人
東京 YWCA ヒューマンサービスサポートセンター
会報



私たちは、福祉・介護の仕事のゆたかさを広げる活動を推進します

NO.12 2016 年 7 月

特集 ケアの実践

会員 奥田 真美さん

小規模デイサービス

「みんなの家」

ユニークで元気になるケアを展開中



講師紹介 柴田 範子先生

高野 範城先生

会員総会報告

2015 年度事業報告

2016 年度事業計画

◆◆◆会員総会報告◆◆◆

平成28（2016）年次総会を開催しました

NPO 法人東京 YWCA ヒューマンサービスセンター理事長 遠藤 久江

私たちは年一度の総会を最高決定機関として開催してきていますが、今年も6月11日に開催しました。年一度ですので、総会では事業報告、収支決算報告、事業計画案、収支予算案、その他役員改選や重要事項が議論されます。この総会を「何年度総会」とするか、あいまいですので、今年度から開催されている年度にすることにしました。即ち平成28（2016）年度総会とすることにしました。

私たちの歩みも5年の歳月が過ぎ、それなりに安定した運営が出来るようになりました。事業は講師派遣事業を中心に展開してきていますが、契約団体も増加し、研修内容にも広がりを見せています。また、会員向けの講習会も好評でした。第三者評価事業については現状の事務局体制での再開は困難な状況なので、定款変更も含めて最終的な判断を理事会で検討することにさせていただきました。2名の評価者が他の評価機関で評価活動をしているので、その方々のご意向を把握しながら最終的な判断をしなければならないと考えています。

昨年度は講師派遣事業が多くの方々のご協力により、順調に推移してきました。その結果、財政的にも繰越金を出して決算することができました。しかし、これは事務局スタッフの賃金及び講師給を低く抑えているため今後の課題です。

私たちの団体の歩みは比較的安定してきているように思われますが、このような時には、この団体が大切にしていることは何か、特色は何かを改めて確認し、常に変化する社会情勢を踏まえながら様々なアイデアを出し合っていかなければなりません。

このところ、いくつかの選挙が行われていましたが、その中で、社会福祉の担い手の問題を取り上げない候補者はいなかったのではないのでしょうか。それくらい私たちの仕事はいまや社会の大きな関心事でもあります。一番身近な会員の皆様からのご提案やご意見は大変貴重なものですので、様々な機会を通しての交流を期待しております。

◆◆◆2015年度事業報告（2015年4月1日から2016年3月31日）◆◆◆

1. 講師派遣事業

講師派遣事業の特色は「オーダーメイド研修」により法人・事業所とともに職員育成を目指している。研修の特徴は、一方的な講義に終わらない、双方向のコミュニケーションと、OFF-JTによる自己啓発システム（SDS）を進めていくことである。事業の目的は以下の点を踏まえて進められてきた。①人権尊重に基づいた実践者を育成する。②ワーク（グループディスカッションなど）を活用しチーム力を高め、研修での気づきや学びを実践に活かす力を育てる。③振り返りシートなど独自のシステムでアクティブラーニング（能動的学習）を促進するという以上3点。

講師派遣研修において成果を実感するためには、時間をかけて職員育成を進めていく必要がある。事業所との協働が不可欠であり、法人・事業所の人材育成に関する要望を受け止め、課題を明確にし、その解決に必要な研修を組み立て進めていく。研修が継続されていくことで、受講する職員の発言が変わってくる、受け身の研修ではない、自ら学び、それを職場に発信し、実践に繋げることが出来つつあることが、研修終了後の受講者の声や、法人理事、施設長の意見からも伺えた。

2. 講座・講習

2016年1月21日・30日・2月4日・13日に開催された介護福祉士実習指導者講習会は、受講者11名と補講者1名であった。専門学校が閉校して6年が経過し、介護福祉士教育の現状、学生の状況に合った講習会とするために、現在介護福祉士養成に携わっている講師に依頼して実施した。しかし、受講者が10名前後では、教育効果の点からも課題が残る。このような現状を踏まえて、理事会において、2016年度以降の介護福祉士実習指導者講習会の開催について協議した結果、2015年度終了とすることが決まった。

他にも、異世代交流の場として土日限定の駄菓子屋「じいばあ」を縁側で開店。また、「旅は最高のリハビリ」という考えの元、西伊豆を旅行したいと思っている高齢者・障害者にバリアフリー情報を提供したり、ホテルでの入浴介助等を行う旅サポーター（地域住民の中から養成した有償ボランティア）を紹介したりする「高齢者・障害者の西伊豆旅行サポートセンター ラクタビスト」(<http://rakutabist.com/>)を展開しています。



3. 奥田さんが考える現在の福祉・介護を取り巻く状況について

若い人達が介護の仕事に憧れを持っていないことに危機感を抱いています。異世代交流の場 駄菓子屋「じいばあ」老人ホーム等で虐待事件が起こるとマスコミはこぞって取り上げますが、少ない給料でも、目の前のお年寄りのために日々奮闘している介護職員が大勢います。そういう日常風景もマスコミで取り上げてほしいものです。私達も機会あるごとに、介護の仕事の喜びややり甲斐を周りの人達に伝えていく必要があると思います。

もう一つ。介護職の仕事として、地域の福祉課題の解決にもっと積極的に関わっていくべきだと考えます。目の前のお年寄りが抱えている問題は、その人個人の問題に留まらず、地域の課題が反映されていると捉えるべき場合が多々あります。地域課題をより早く的確に把握できる介護現場の強みを活かして、誰もが暮らしやすい街づくりにも参画していくと、より仕事がハードにもなりますが、充実してくると思います。

一例を挙げると、みんなの家のデイ利用者Kさんが失語症で人生に絶望していました。西伊豆地域はリハビリ資源が乏しく、病院や老人保健施設にも言語聴覚士不在の状態が長く続いていました。Kさんだけでなく、西伊豆で暮らす言語障害者は皆、専門職に助けを求められず孤立していたのです。そこで、まずは同病者の仲間を作ることがKさんの支援になると考え、西伊豆いろは組(失語症友の会)を立ち上げました。Kさんは既に亡くなりましたが、いろは組は結成8年目を迎えた今も活動を続けており、西伊豆に暮らす失語症患者の心の拠り所となっています。

4. NPO 会員へメッセージをお願いします。

みんなの家では介護スタッフを募集中です。

地域福祉を体験的に学びたい方や、もう一度介護という仕事を見つめ直してみたいという方、西伊豆という片田舎で1年間程度、ワーキングホリデー的に働いてみませんか。青い海や水平線に沈む夕日もあなたを待っています。

☆みんなの家 介護スタッフ募集中☆

住む所は提供いたします（家賃はみんなの家が負担）。

勤務時間は9時～17時30分。

勤務日数は、週5日。

給与は、時給1,000円。社会保険にも加入していただきます。



お天気が良ければほぼ毎日お出かけ

<問い合わせ> NPO 法人みんなの家

〒410-3513 静岡県賀茂郡西伊豆町中745-3

TEL・FAX 0558-52-4730

Eメール min7noie@poem.ocn.ne.jp

奥田さんの活動を応援したい方、ご意見ご質問など当NPOで受け付けております。

お気軽にお問い合わせください。（東京 YWCA ヒューマンサービスサポートセンター 03-6273-7134）

会員 奥田真美さん（東京YWCA専門学校社会福祉科シニアコース卒）

～じっくり話を聴き、元気を引き出す「聴くケア」「人生紙芝居」異世代交流の場「じいばあ」
などユニークで元気が出てくるケアを展開中～

奥田真美さんは、静岡県賀茂郡西伊豆在住。

介護が必要になっても、住み慣れた地域での暮らしを可能な限り継続できるよう、古民家を利用してNPO法人「みんなの家」で通所介護サービスを行っています。

利用者の人生経験に学び、それを地域で生かす活動「人生紙芝居」を、利用者さんといっしょに製作、上演しています。そんな奥田さんにインタビューに答えていただきました。

1. 東京YWCA専門学校入学の動機を教えてください。

私は薬科大学卒業後、研究開発職として企業に就職しました。しかし、仕事内容や人間関係に行き詰まり、2年で会社を辞めました。180度の方向転換を図るため一から学び直そうと思い、自分の貯金でやり繰りできる学校を捜しました。当時、東京YWCA専門学校に社会福祉を1年間で学べるシニアコースがあったので入学しました。週1回施設で実習を行う通年実習のカリキュラムがあったのも魅力でした。25年程前のことです。



奥田さん 利用者さんと一緒に海までお出かけ

2. 「みんなの家」などの取り組みについて教えてください。

「みんなの家」は1999年開設、1日定員10人の小規模デイサービス。建物は古民家を借りて、手すりをつける等の多少の改修を加えています。プログラムの特徴として、まずは、「リハビリも兼ねた外出活動」に力を入れています。建物が小さいため、室内にリハビリ器具等を置くスペースもありません。西伊豆という風光明媚な観光地でデイサービスを行っているため、天気が良ければ、海や花を眺めにほぼ毎日出かけます。外出先で知人にばったり出会ったりするうれしいハプニングも。

お年寄り一人ひとりから話をじっくり聴くことで元気を引き出す「聴くケア」にも力を入れています。さらに聴いた話を基に、その方の人生経験を再びデイサービスや地域の中で活かす機会を創り出そうと考えています。



「人生紙芝居」の上演

中でも「人生紙芝居」は特筆すべき活動です。お年寄り一人ひとりの人生経験を聴き取り、それを10枚程度の手作り紙芝居にして誕生日会に上演します。

色塗り作業にはデイご利用者も参加。「人生かみしばいで、人生かみしめ合い」を合言葉に、作業の段階からその方の人生を利用者・スタッフ全員で共有することを心がけています。自分の人生紙芝居を観ている時の、お年寄りの照れくさそうな、でもとっってもうれしそうな顔を、是非、見に来て下さい。

戦争体験に深く触れた人生紙芝居は「平和の授業」にも活用。これはデイご利用者達と西伊豆町・松崎町内の全小学6年生を訪ね、戦争体験を語り継ぐ活動で、毎年、終戦記念日が近づく7月頃に学校側の協力を得て行っています。

たとえ認知症があろうとも、戦争体験者は平和を教えて下さる立派な先生です。要介護状態になっても人の役に立てる、それが生きる力を生むのです。



小学校で「平和の授業」

3. 東京都福祉サービス第三者評価事業

2015年3月、評価機関の認証が取り消され、2名の評価者が「継続して評価活動を行う」という意向であったため、他の評価機関に於いて活動を継続できるよう調整を図った。

現在の事務局体制では、評価機関として活動することは不可能であるため、年度計画では、評価者の意見を聞いて再検討するとしていた。個別に、評価活動と今後の希望を確認し、それを理事会で報告。理事会では、このまま個人の評価活動を見守るという方針が打ち出された。

4. その他事業（福祉啓発事業・会員活動）

福祉・介護の講習会 講師 富澤 優江先生

テーマ：アサーション（自分も相手も大切に作るコミュニケーションスキル）10月10日 23名参加
エニアグラム（性格タイプ論）から学ぶコミュニケーション 2月20日 18名参加

5. 広報

会報：

7月31日 第10号発行 200部（主な内容：総会報告・事業報告・新年度に向けて
新しい講師の紹介 愛恵施設見学会報告（やすらぎ夢工房）他
12月16日 第11号発行 200部（主な内容：上半期事業報告・活動報告）
インタビュー（北区社協友愛サポートスタッフ研修）他

パンフレット：3000部作成（3月）

法人開設5年が過ぎ、事業内容が変更していることから、新パンフレットを作成した。

最終ページでは、私たちのプロフィールや理念の表現方法を改めて見直し、整理した。

◆◆◆2016年度事業計画（2016年4月1日から2017年3月31日）◆◆◆

事業方針

2016年度も引き続き、東京を中心とした高齢者施設及び障がい者施設を主な活動場所として事業を展開し、福祉介護事業所等の人材育成のための講師派遣事業を中心として進めていく。これまで実施していた介護福祉士実習指導者講習会を中止し、これに替る、講座講習の計画を企画、実施していく。また作年と同様、「福祉・介護の講習会」を開催し、福祉啓発事業にも取り組んでいく。

これらの活動を通して、福祉サービスの向上をめざし、福祉・介護に携わる人々が、その仕事の魅力を再発見し、専門性を高められるよう貢献していく。また、活動に関わる全ての人々の「人生の質」が高まり、自分らしい生き方ができることを目指していく。更に、NPOとしての活動の充実を図るために、会員の拡大に力を入れていくと同時に、継続した活動を進めるため経営の安定を図り、事務局体制の充実を図っていく。

事業内容

1. 講師派遣事業 研修の質の向上を図る上での3つの取り組みについて

1) 研修プログラムの開発と内容の充実

各階層・年齢・経験等多様な職員に対して研修プログラムを開発する事が求められており、そのためには、研修ニーズの明確化を図り、対象となる職員の傾向や課題に合わせて研修内容や方法を検討し、研修計画を作成する。その後、研修内容に適した講師を選出し、研修のねらいと事業所の状況、課題などについて講師との共通理解を図るため、打ち合わせを進める等の取り組みを進めている。

今年度スタートした、管理職研修では、新たに8名の講師に依頼することが出来た。また、専門分野を担える講師として、新たに4名の講師と契約出来た。新体制で事業を展開していく。

2) コーディネート機能の向上

コーディネートの役割

- ①研修計画作成から実施、評価までの一連の活動を中心となり進めること。研修の成果を最大限高められるように、研修プログラムの開発と研修内容の充実を図る。
- ②受講生自身が取り組む研修プログラムを、仕事の中で活かすために必要なサポートを行う。年間を通して進められる「課題の取り組み」を受講者一人ひとりが理解し、モチベーションを上げて取り組むことが出来るようにサポートする。更に、受講する職員を担当する所属部署のスーパーバイザーの意識を高められるように進める。

現在、事務局長がコーディネーターを兼務し、すべての研修に関わっている。加えて4名の講師がコーディネーターの一部の役割りを複数で担当することによって、効果を上げているので、引き続き行っていく。特に管理職研修においては、研修の目的を熟知し、研修内容の提案を行なえるコーディネーターとして、当 NPO 理事長が研修計画の作成から研修実施まで一連の活動を担う予定である。今後は、福祉分野の多様なニーズに対応していくためにも、高齢、障がい、子ども分野に精通したコーディネーターを担う人材の発掘と育成を進めることが課題である。

3) 講師との連携の強化

- ①年間を通じた研修を実施している施設事業所毎に、年一回講師会を開催。
- ②年間を通して一つの研修を複数の講師で担当する場合、研修を継続し効果的に行うための仕組みを活用。

2. 講座・各種講習会事業 : 下記一覧表参照

3. その他事業

- 1) 福祉啓発事業 : 下記の一覧表参照
- 2) 会員活動 : 会員(有志)とともに、会員のしおり及び会員証を作成し配布する。 年内配布予定。
2017 年度会員が主宰するシンポジウム開催に向けた準備会をスタートさせる。

2015 年度講師派遣研修実績及び 2016 年度講師派遣研修及び講座講習会 事業予定

事業内容	内訳	2015 年 度	2016 年度	法人・事業所	
講師派遣研修	の間 2 以 0 上 時	社会福祉法人	4	6	愛隣会・白十字会・台東区社会福祉事業団・ 清明会・ケアセンター成瀬・千歳敬心苑
		社会福祉協議会	3	1	北区友愛ホームヘルプサービス
	【単発研修他】 研修 1 回 4 回	高齢者	1	3	マザアス日野・社福武蔵野・いなぎ苑
		障がい者	3	2	横浜共生会地域センター海 愛隣会目黒恵風寮(知的障害者入所)
		子ども	5	1	愛隣会目黒若葉寮(児童養護)
	勉強会等	4	1	SSN 研修会(女子栄養大学勉強会)	
	愛恵福祉支援財 団国内研修 コーディネート	2	2	練馬キングスガーデン 6月 にじの会 10月	
講座・講習会	相談援助に関わる人のための講習会 I 部「家族問題の基本的理解と面接の基本的スキルの向上」2017 年 1 月 14 日 II 部「家族問題の基本的理解と面接の基本的スキルの向上」2017 年 2 月 18 日 ~ 困難事例を紐解くグループスーパービジョンを通して ~ 講師 吉浦 輪先生 東洋大学ライフデザイン学部 教授 認定社会福祉士スーパーバイザー				
福祉啓発	講習会 9 月 3 日(土) 会場 東京 YWCA 会館 「人と気持ちを通わせるために身につけたいコミュニケーションスキル」 ~ 自分も相手も大切にできるスキルを学ぶ ~ 講師: 富澤 優江先生 親業訓練アドバイザー他				

◆◆◆ 講師派遣研修 新しい講師のご紹介 ◆◆◆

講師派遣事業は講師の先生方のお力に支えられています。
今年度新しく講師に加わってくださっているお二人をご紹介します。



柴田 範子先生

Q1 先生の所属と所属先の紹介を

A. 所属は特定非営利活動法人楽の理事長をしております。措置制度の頃、川崎市の福祉事務所に勤務。好きなホームヘルパーをしていました。当時の認知症の人に対する理解は低く、最期まで自宅と言う本人の願いは聞き入れられることは難しかったですね。

上智社会福祉専門学校の教員になり、様々に実習巡回をしますが、認知症の人、要介護の人にとって、幸せと思えない場面に随分出会いました。何かできないかと考え、自らが事業を立ち上げることに。認知症デイからスタートしていますが、現在は生活者に理想の、小規模多機能居宅型ひつじ雲、サテライトくじら雲を運営。地域に根差した信頼のおける事業所でありたいと思い、運営しています。スタッフの大方が正規職員です。

Q2 当法人との関係を教えてください。

A. 上智社会福祉専門学校に勤務し始めた時からの縁でしょうか。東京 YWCA 専門学校で定期的に行われていた勉強会に良く参加させてもらいました。教員研修でも単位をいただいた記憶があります。

Q3 先生が研修の中で一番伝えたいこと、又は大事にしていることはどんなことですか？

A. 人はそれぞれの思いをもって生活を営んでいます。その人のこれまでの暮らしが少しでも継続できることが大切だと思っています。介護対象者とみるのか、生活者としてみるのかでは、こちら側の対応の仕方にも違いがある筈。大切な存在の方が、自分自身が大切にしていることを継続できるような、当り前の暮らしが出来るような支援者になればいいなと思っています。

Q4 先生のチャームポイントを教えてください。

A. 特にないですね。いい年齢になりました。これからをどのように生きるか。社会のためにもう少しだけ役立ちたいですね。

..... 柔らかい表情の内に強さを秘めた素敵な女性(事務局)

高野 範城先生



Q1 先生の所属とご専門

A. ①弁護士(昭和 45 年 4 月第 2 東京弁護士会入会)
②専門は幼児から高齢者まで社会保障法並びに子どもの人権、教育の自由などの教育法。

Q2 当法人との関係を教えてください。

A. ①石井事務局長と一緒にある社会福祉法人の試験官になったこと。
②キリスト教関係の団体、施設などに関与していること。

Q3 先生が研修の中で一番伝えたいこと、又は大事にしていることはどんなことですか？

A. ①どんな状況でも個人の尊厳が保たれ、最低限度の生活が公的責任と公的費用負担で保障されること。
②専門家は常に研鑽し、提供する業務の質を高めること。

Q4 先生のチャームポイントを教えてください。

A. 声は大きく、口の悪いところがあるが、限りなく愛情をもっていること。

..... きさくで話しやすく、ゆるぎない信念の人(事務局)